

第五十六回帝國議會
衆議院

競馬法中改正法律案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
家畜保險法案(政府提出)
家畜再保險特別會計法案(政府提出)

會議

昭和四年二月二十七日(水曜日)午前十時五十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 内野辰次郎君

理事 中島 鵬六君

理事 志村清右衛門君

水久保甚作君

石射文五郎君

土井 權大君

大里廣次郎君

漢那 憲和君

檀野 禮助君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 東 武君

農林省畜産局長 戸田 保忠君

大藏書記官 川越 丈雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

家畜保險法案(政府提出)

家畜再保險特別會計法案(政府提出)

○内野委員長 開會ヲ致シマス、菅村君、質問ノ繼續……

○菅村委員 格別アリマセヌ

○内野委員長 ソレナラバ誰方カ——

漢那君

○漢那委員 本法ニ關聯シテ當局ニ御

伺シタイノデアリマスガ、沖繩縣デハ家畜トシテハ牛馬ヨリハ寧ロ豚ノ方ガ重ク見ラレテ居ルノデアリマスガ、今

沖繩縣ニ於ケル家畜ノ狀態ハドウナツテ居ルカト云フト、縣下ノ總戸數ガ約十一萬七千戸アルニ對シテ、牛ガ三萬一千、馬ガ三萬五千デアルノニ、豚ハ十一萬五千頭ニ達シテ居ルノデアリマス、即チ平均スルト云フト殆ド各戸ニ一頭宛ノ豚ヲ飼ッテ居ルト云フヤウナ譯デ、農家ノ副業デアアルバカリデナク、又市外地ニ於テモ大抵ノ民家デハ豚ヲ飼ッテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、之ヲ毎年々々ノ屠殺數カラ見マシテモ、牛ガ二千七百頭ニ對シテ、豚ハ三萬一千頭ニ達シテ居ル、縣民ノ重要ナル食糧ニナツテ居ルノデアリマス、所ガ近頃外國種ノ豚ヲ輸入シマシテカラ、豚疫ガ頻發致シテ豚虎列刺ト言ヒマスカ、非常ナ損害ヲ連年受ケテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ當局カラ此強

制屠殺ト云ヒマスガ、切迫屠殺ト云ヒマスカ、虎列刺ニ罹ッタモノヲ殺シタ場合ニ、多少ノ交付金ヲ出サレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、私詳シイ數字ハ能ク記憶シテ居リマセヌガ、何デモ一頭ニ付テ僅ニ六七圓ノ交付金ヲ出シテ居ル、サウスルト實際ノ損害ノ五分ノ一、六分ノ一ニモ當ラヌト云フヤウナ狀況デアリマス、當局ハ此交付金ヲモット増額サレル意思ハナイカ、ソレカラ又モウ一ツハ此家畜保險法ニ保險家

畜ヲ牛馬ト限定サレテ居ルヤウデアリマスガ、此外ニ豚ヲ加ヘルト云フ御意思ハナイノデアリマスガ、此二點ヲ御同致シマス

○戸田政府委員 只今ノ御尋ノ第一點ハ、法律ノ用語カラ云ヒマス、法令處分ニ依ル殺處分ニ當ルノデアリマス、法令ニ依ル殺處分ニ依リマシテ家畜傳染病ガアリマシタ際ニ、若干ノ手當金ヲ交付スルコトニナツテ居リマス、是ハ各病氣ノ性質其他ノ狀況ニ依ルノデゴザイマシテ、時代ノ要求ニ應ジテ或場合ニハ其手當金ヲ増額ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ問題ヲ攻究シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、併ナガラ目下ノ狀況デハ今直ニソレヲ増額スルト云フヤウナ所マデハ行ッテ居リマセヌト云フ、此際最近ニ於テ増額スル意思アリヤ否ヤト云フ御尋トスレバ、今直ニハ増額スル意思ハゴザイマセヌガ、法律ノ制定カラ相當年所ヲ經レバ、經濟的ノ動物ノ價值等モ段々變ッテ來ルト思ヒマスノデ、或時機ニ於テハ之ヲ攻究スル必要ガアラウカト考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一ツノ今度ノ法案デハ牛馬ヲ目的トシテ居ッテ、他ノ方面ヲ目的トシテ居ラナイガ、豚ニ付テハドウ云フ意見デアアルカト云フ御尋ノヤウデアリマス、是ハ今度初メテ斯ウ云

フ仕事ヲ致スノデアリマシテ、保險ノ基礎ト云フモノハ總テ御承知ノ通り統計カラ來テ居リマス、此際牛馬ニ付キマシテハ漸ク其家畜保險ヲ實施シ得ルダケノ統計ガ兎モ角モ備リマシテ、此法案ヲ出ス程度ニ運ビマシテゴザイマスガ、此危險率ト云フモノガ、即チ統計カラ來マスノデアリマス、豚ノ方ニナリマスト、保險ヲ實行スルニ當ッテ統計ハマダ缺クル所ガアリマシテ、全國的ニ豚ノ斃死率ヲ出シマスコトガ困難デアリマス、豚ハ御承知ノ通り屠殺シテ食ベルノガ目的デアリマス爲ニ、豚ノ斃死率ヲ出サウト致シマシテモ、豚ノ飼養戸數トカ現在ノ總頭數デアルトカ云フモノハ、畜産統計デ相當明デアリマスケレドモ、家畜保險ヲ實施スルニ必要ナル統計ガ不十分デアアル、其方面カラ致シマシテモ、此際之ヲ入レルコトハ不可能デアアル、唯理想トシテハ、將來ハ豚ナドモ家畜保險ノ目的トスルコトガ出來ルヤウナ時代ノ、一刻モ早ク來ルコトヲ期待シテ居リマス、但シ豚ノ中デモ種豚ダケニ付テハ、當局トシテモ成ベク早く施行シタイト云フ意思ハ持ッテ居リマスガ、統計ノ材料其他カラ致シマシテ、今直ニ之ヲ實行スルト云フダケノ材料ガ得ラレマセヌ、此法律施行後、直接ハ牛馬デゴザイマスガ、一

方ニ於キマシテ又此委員會御決議ニナリマシタ農業「センサス」ノ問題ナドモ起ッテ參リマシテ、追々統計ガ整備シテ來ルダラウト思ヒマス、整備シタ曉ニナレバ、入レ得ル時機ガ來ルダラウト思ヒマス、今直ニ實行スルト云フコトハ統計ノ上カラ申シマシテモ不可能デアリマス

○漢那委員 沖繩縣ニ於ケル豚「コレラ」ニ付テハ、モウ數年前カラ流行シ始ツテ居ルノデアリマシテ、其統計ナドハ當局ニ於テ能ク御分リノコト、思フ、之ニ依テ如何ニ沖繩縣ガ打撃ヲ受ケテ居ルカ、サウシテ現在ノ交付金ハ其損害ノ十分ノ一ヲ償フニモ足ラヌト云フコトモ能ク御承知ノコト、思フ、故ニ差當リ今ノ賠償金ト言ヒマス、豚疫ニ罹ッタモノヲ殺シタ場合ノ補償金ヲ増額スル意思ガナイト云フ御話ガアリマシタガ、現在ノ狀況ヲ親切ニ御調査ニナリマシタナラバ、是非トモ是ハ増額ヲシテヤラナケレバナラヌト云フ御意思ニナルダラウト思フ、私ハドウカモット能ク御調査ニナッテ、速ニ此金額ヲ増加シテ戴クコトヲ希望致シマス、ソレカラ家畜保險法ノ中ヘ豚ヲ入レルコトニ付テ、基礎トナルベキ統計ガ無イカラ今ノ所ヤラナイト云フ御答デアリマシタガ、サウ云フ基礎ガナケレバ何ト云ッテモ仕方ガアリマセヌガ、是非トモ早ク殊ニ特殊ノ狀況ニ在ル沖繩縣ニ於テハ、他府縣ト違ッテ豚ガ最も重大

ナル家畜デアリマスカラ、特別ノ除外例ヲ設ケテ沖繩縣ダケニデモ家畜保險ニ豚ヲ入レル意思ガナイカト云フコトヲ、モウ一遍伺ヒタイト思フ、先年農業倉庫法デアリマシタカ、法律ガ施行サレマシタ時ニ、米穀ニ限ルト云フコトデアッタノガ、沖繩縣ニ於テハ米穀ヨリ寧ロ砂糖ガ重要農産物デアアル、ソレ故ドウシテモ砂糖ヲ入レテ貰ハナケレバナラヌト云フコトデ、色々運動ノ結果三年許リ經チマシテ、到頭沖繩縣ニ於テハ砂糖ヲ農業倉庫ニ入レルコトニナツタ實例ガアリマス、是等カラ見マシテモ、一種ノ除外例トシテ沖繩縣ニ於テ豚ヲ入レルト云フコトハ、必シモ先例ノ無イコトデモアリマセヌカラ、此先例ヲ追ウテ、此際全國ノ統計ガナケレバ仕方ガアリマセヌガ沖繩縣限リデハ相當統計ガアルダラウト思ヒマスカラ、若シサウ云フ統計ガアッタナラバ、直ニ豚モ保險ノ中ニ入レテ貰ヒタイト思ヒマス、此點ヲモウ一遍伺ヒマスカ

○戸田政府委員 只今統計ノ御話ヲ致シマシタガ、其外ニ斯ウ云フ關係モアリマス、統計ニ就テハ若干ノ統計モアリマスガ、牛馬ト異リ、此際施行スルニハ少シク不十分デアルト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマス、更ニ保險ノ方カラ申シマスト、保險其モノ、事實上ノ問題ト致シマシテ、豚ハ牛馬ニ比スレバ危險率ガ高イ、ソレガ爲メ保險ニ

適シナイ點ガ若干アリマス、餘程考慮シナケレバナラヌ點ガアリマス、隨テ保險ト云フモノガ大ニ普及サレマシテ、モウ少シ進ンデ參リマスレバ又考モアリマスカ、マダ創設ノ時代ニハ豚ヲ入レルコトハ危險ガ多イ、又一方ニ於テ沖繩縣ニ於テハ豚ガ家畜ノ重要ナル地位ヲ占メテ居ルト云フコトハ、私モ御話ノ點ハ御同感デアリマス、ソレハ何等カ他ノ方法ヲ助長シテ行クト云フ方面ニ力ヲ注グベキモノデアッテ、直ニ保險家畜ノ中ニ入レルト云フ問題ハ保險其モノ、根本カラ考ヘナケレバナリマセヌカラ別問題トシテ、沖繩縣ニ於ケル豚ガ畜產上別ノ方面カラ考ヘテ、助長ナリ何ナリスルヤウニ考慮スル必要ハアラウト考ヘテ居リマス

○漢那委員 サウスルト只今ノ御話デハ、將來統計ガ完備シテ來タラ豚モ本案ノ中ニ入レル、但シ今日沖繩縣ニ於ケル豚ノ特殊ノ地位ハ之ヲ認メル、ソレニ對シテハ何カ他ノ方法ヲ以テ當面ノ急ヲ救ヒタイ、斯ウ云フヤウナ御答辯デアリマスカ

○戸田政府委員 詰リ家畜保險ノ制度デナク、其問題ハ他ノ方法ヲ攻究シナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマスカ

○漢那委員 將來保險ノ基礎タル統計材料ガ揃ッテモ、豚ハ本案ニハ入レルカ入レナイカ、ソレヲ伺ヒマス

居リマス、吾々トシテモ理想トシテハ豚モヤリタイノデアアルカラ將來之ヲ入レルコトノ出來ル狀況ニ達シマスレバヤリタイトハ思ッテハ居リマス、絶對ニ豚ヲ排除スル意味デハアリマセヌ

○漢那委員 只今ノ御答デ前段ノ點ハ分リマシタ、サウスルト後段ノ沖繩縣ニ於ケル豚ガ特殊ノ地位ヲ占メテ居ル、之ニ對シテ畜產ヲ獎勵助長スル爲ニハ、別ノ方法ヲ講ズルノガ至當デアルト云フ御答デアリマスカ、其別ノ方法ト云フノハ差當リドウ云フ方法デアリマスカ

○戸田政府委員 ソレハ今具體的ニハ申上ゲ兼ネマスガ、例ヘバ沖繩縣ニ於キマシテハ、沖繩縣救濟問題ト云フヤウナコトガ先年起リマシタ、サウ云フヤウナ際ニ於キマシテモ、畜產ノ方面カラ申シマスト豚ガ重要ナル問題デア、隨テ今御話ニナリマシタ豚ノ疫病ト云フコトガ重大ナル問題デアリマスカ、特ニ獸疫豫防ニ付キマシテ、アノ沖繩縣ノ産業ノ助成金ノ中ニモ獸疫ノ豫防施設ニ付キマシテ特ニ注意致シマシテ、若干ノ經費ヲ組ミマシタ、是ハ一例デゴザイマスガ、サウ云フヤウナ方法モ一ツノ方法カト思ヒマス、デゴザイマスガ、今具體的ニ省議ガ決定シテ居ル譯デモアリマセヌカラ、一寸申上ゲ兼ネマスガ、今マデヤッテ居ル一例ヲ申上ゲレバ、サウ云フノモ一例ニナリマスカ

○漢那委員 只今ノ御話ニ依テ先程私ガ希望ヲ述ベテ置キマシタ例ノ補償金デスガ、之ヲ増シテ戴クト云フコトガ、最も有效ナ一ツノ助長ノ方法デハナイカト思フ、更ニ適當ナ方法ヲ講ジタイト云フ御意思デアレバ、尙更補償金ハ増加シテ戴キタイト云フコトヲ、私ハ重ネテ御願ヒシテ置キマス

○中島委員 一ツ二ツ御尋シテ見タイコトガゴザイマス、一番最初ニ御尋スルノハ組合ノ區域ト云フノデゴザイマスガ、郡市ノ區域ヲ越エザルヲ標準トスルト云フノハ、郡市以下ノ行政區劃例ヘバ町村デアルトカ何トカ云フノヲ指スノデアツテ、縣全體ト云フノハ御指シニナル意味デハナイノデアリマスカ、ソレヲ一番最初ニ伺ヒマス

○戸田政府委員 此「郡市ノ區域ニ依ルト申シマス」ハ、大體郡市ヲ標準トスルト云フ意味デアリマス、此組合ハ大體ノ進ミ方カラ言ヘバ、畜産組合ヲ土臺ト致シマシテ——畜産組合ト法人格其モノハ違ヒマスガ、大體ニ於テ畜産組合ヲ助成ノ地位ニ立テルヤウニシテ進ンデ行キタイ、サスレバ獎勵モ早ウゴザイマス、是ハ出資團體デハアリマセヌガ、初ハ畜産組合ノ助力ニ依テ進ンデ行キ、場合ニ依リマシテハ事務所ナドモ畜産組合ノ事務所ニ二ツ看板ヲ掲ゲテ行クト云フ位ノ程度デヤツテ行ケバ、早道ダト考ヘテ居リマス、ソレデ家畜保險ノ成立ハ最少限度ノ畜類ノ頭

數カラモ來テ居リマス、ソレデ相互組織デアツテ、始終御互ニ監視ノ行届ク組合ハ、其家畜組合ガ適當シテ居ル次第デアリマス、デアリマスカラ之ヲ極端ニ論ズレバ、極ク小サイノガ宜イノデアリマス、所ガ其小サイ町ノ單位トカ村ノ單位ト云フコトニナレバ、今度ハ家畜ノ頭數ガ少クテ、危険ノ分散ト云フコトガ餘リニ狭小デアルカラ、保險ト云フコトガ成立ツテ行キマセヌ、現在ノ程度デアレバ成立ツテ行クト云フ大體ノ計算ガ付キマス、ソレデ郡市ノ區域トシタ譯デアリマス、ソレデ例外トシテハ畜産組合ガ一縣全體ト云フコトモゴザイマスガ、ソレハ極ク稀ナ場合デ、一縣全體ト云フコトニナレバ、詰リ少シ廣クナリ過ギマスガ、ソレデ一番廣イノハ畜産組合ヲ郡市ノ區域内ニ於テヤル、ソレデ保險法ハ畜産組合トノ關係モ考慮シ、又組合ニ這入ル家畜ノ頭數ヲモ考慮致シマシテ、都市ノ區域ヲ標準トスルコトガ適當デアルト考ヘタ次第デアリマス、併ナガラソレヲ具體的ニ法律決メテシマヘバ、出來ナイ場合モアリマスカラ、若干ノ例外ヲ認メルコトガ出來ルト云フコトニシテアル譯デアリマス

○中島委員 ソレデ分リマシタ、ソレカラ次ニハ保險事項ガ三ツ竝ベテアリマスガ、斃死、切迫屠殺、法令ニ依ル殺處分デアリマスガ、傷害保險ハナイデセウカ、此法律ノ方ニハ損害填補ノ割

合ト云フコトガ書イテアリマスガ、損害填補ノ割合ト云フノハドウ云フ意味カ明瞭デアリマセヌガ、傷害保險ハ付イテ居ナイデセウカ、一寸伺ヒマス

○戸田政府委員 傷害保險ハ今ノ所デハヤラナイ積リデアリマス、死亡ニ依ル損害ハ填補スルト云フコトニナツテ居リマスガ、傷害保險ハ必要論カラ言ヘバ、場合ニ依テ必要トモ思ヒマス、併シナガラ法律デ今之ヲヤル意思ハ持ツテ居リマセヌ

○中川原委員 此切迫屠殺ト云フノハ生カシテ置イテモ何等效果ノナイ場合ハ、屠殺ヲスルト云フ意味カラ出タデアリマセウカ、之ヲ一寸御伺ヒ致シマス

○戸田政府委員 切迫屠殺ハ詰リ瀕急状態ニ陥ツテ居ッテ、ソレヲ生カシテ置ケバ經濟的ニ詰リ成立タヌト云フ場合モアルノデアリマシテ、或馬ナラバ馬ヲ廢馬ニスルト云フノトハ意味ガ少シ違ヒマス、例ヘバ大怪我ヲシテ足ガ折レテシマッタト云フ場合、之ヲ無理ニ生カシテ置ケバ生カシテ置ケマセウケレドモ、サウ云フノハ切迫屠殺ヲスルサウ云フ意味デアリマス

○中川原委員 サウ致シマス、此切迫屠殺ヲスル場合ハ餘程面倒ダラウト思ヒマス、何故ナラバ假ニ競馬ニ馬ガ出テ是ガ怪我ヲシタ、サウスルト競馬ニハ役ニ立タナイ、使役馬ニハ役ニ立タナイケレドモ蕃殖用馬ニハ宜シイト

云フ状態ガアルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ之ヲ切迫屠殺スルヤ否ヤ、蕃殖用馬モ牝馬ナラバ蕃殖用馬ニハ宜カラウガ、牡馬ナラバ蕃殖用馬ニハナラヌト云フ状態ガアルノデアリマス、又使役馬ニ於キマシテモ、單ナル使役馬ナラバ是ハ切迫屠殺センケレバナラス状態ニナルケレドモ、使役馬ノ中デモ蕃殖用馬ニ移ス場合ニハ、切迫屠殺ヲセヌデモ、假ニ千圓ノ馬ガ二百圓カ三百圓ノ安値ニ落チテシマツテ、蕃殖用馬ニナル場合ガアルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ之ヲ切迫屠殺スルカ、蕃殖用馬ニスルカ、所有者ノ希望ニ依ルカ、其組合ノ希望ニ依ルカ、之ニ依テ利害關係デ非常ナ爭ガ將來起ルダラウト私ハ思ヒマス、此心配ヲ私ハ持ッテ居ルノデアリマス、此範圍ハドウ云フ位ノ範圍ヲ以テ之ヲ切迫屠殺スルカ、セヌカト云フコトヲ御伺ヒスルノデアリマス

○戸田政府委員 現行ノ法令ノ中、切迫屠殺ト云フ文字ヲ使ッテ居リマスノハ、屠場法關係ノ法令デアリマス、多分内務省令ダト思ヒマスガ、ソレニハ切迫屠殺ト云フ文字ガ使ッテアリマシテ、其方デハ切迫屠殺ト云フ觀念ガ大體明カニナツテ居リマス、併ナガラ家畜保險ノ方カラ申シマス、此屠場法ノヲ其儘使フト云フコトニモ相成ラスト思ヒマスノデ、此二十三條デ「切迫屠殺ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコト

ニシテ、恰度今御質問ノアリマシタヤ
ウナ疑義ヲ生ジマスノデ、命令ヲ以テ
其範圍ヲ明カニシタイト思ッテ居リマ
ス、屠場法ニ依ル方ノ切迫屠殺ハ生肉
ノ利用行爲デアリマスガ、家畜保險法
ノハ疾病又ハ傷害ヲ受ケタル家畜ニシ
テ到底回復ノ途ナキモノハ之ヲ屠殺ス
ルト云フコトニナリマスノデ、大體ニ
於テ獸醫學上治療ノ途ナキ場合、治療
費ガ家畜ノ價格ニ比シテ著シク多額ヲ
要スル場合、回復後使用價值ガ管理費
ニ比シテ甚ダ小ナル場合ト云フコトヲ
大體想像スルコトガ出來マス、命令デ
以テ其點ハ範圍ヲ明カニシタイト云フ
考デアリマス

○東政府委員 ソレハ此第二十九條ニ
「組合員保險ノ目的タル家畜ヲ切迫屠
殺セントスルトキハ組合ノ承諾ヲ求ム
ヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ
此ノ限ニ在ラス」ト斯ウアリマス、其疑
ノアル時分ニハ組合員ガ承諾ヲシナ
イ、斯ウ云フコトニナリハシナイカト
思ヒマス

○中川原委員 私ハ斯ウ云フ云フコト
ヲ心配シマス、假ニ競馬馬ガ怪我ヲシ
テ、競馬ニハ役ニ立タナイケレドモ蕃
殖用馬トシテ役ニ立ツ場合ガアリマス
ガ、サウ云フ場合ニハ假ニ一萬圓ノ馬
ガ怪我ヲシタ競馬馬トシテ出シタノデ
アルカラ、之ヲ切迫屠殺シテ呉レ、併シ
ソレガ蕃殖用ニ出ス時ハ二千圓カ幾ラ
カニ賣レル狀態ニナッテ居ルコトガア

ハ、サウ云フ場合ニ組合デ承諾シナイ
ト云フノカ、スルヤウニシテ置クノカ
ト云フコトハ、是ハ能ク考ヘナケレバ
ナラナイト思ヒマス、サウ云フ狀態ガ
必ズアルト思ヒマスガ、是ハドウデア
リマスカ

○戸田政府委員 今例ヲ以テ御話ノヤ
ウナ場合ハ、詰リ保險法デハ原價保險
ヲ認ムルト云フコトニナル、原價保險
ハ此法律デハ今ヤル積リデハゴザイマ
セヌ、御話ニアッタ家畜ノ生命保險ダケ
ヤル積リデアリマス、原價保險モ無論
畜産ノ上カラ言ヘバ必要デハアリマス
ガ、原價保險ト云フコトニナリマス、
其基本統計等ガ今日ノ程度デハ是レ以
上ニ面倒デアリマス、材料ヲ得ルコト
ガ出來マセヌノデ、今ソレヲ行フト云
フコトハ困難デアリマス、ソレデ原價
保險ト云フモノハ理窟ノ上カラ必要デ
アリマスガ、此法律デハソレハヤラナ
イコトニナッテ居リマス、ソレデ一寸競
馬馬ノ例デ御話ガアリマシタガ、競馬
馬ニナリマス、組合ノ相互ノ保險デ
ハ餘程困難デハナイカト思ヒマス、サ
ウ云フモノニナリマス、社會社組織ノ一
般ノ營利保險等デ行ハレルト云フ方ガ
近道デハナイカト思フノデアリマス、
餘程此相互ノ組合組織デヤッテ行ク
場合ニハ、競馬馬ニナリマス、餘程問
題デハナイカト考ヘテ居リマス

○中川原委員 モウ一ツ御伺シタイノ
ハ、斯ウ云フコトモ豫期サレルダラウ

ト思フ、ソレハ明ケ一歳ト云フノハド
ウ云フ意味カ分リマセヌガ、マア二歳
位ノ馬デアリマセウ、之ヲ假ニ三歳位
ノ馬ヲ保險ヲ付シタト致シマス、是ハ
使役馬或ハ競馬馬トシテマダ未知數ノ
馬デアアルカラ、其當時ノ價格ガ現在ノ
競馬馬ノ例ニナリマス、調教シナイ馬
デモ普通ハ高イ、純血ノ「サラブレッド」
トナレバ七八千圓カラ一萬圓位ノ馬デ
アル、ソレヲ三歳ノ馬ニ假ニ保險ヲ付
ケテ、ソレヲ調教シテ見ル、調教シテ見
テ、ソレガ駄目ダト云フコトニナルト、
七八千圓ニ買ッテモ、是ガ二三千圓ノ價
格シカナイト云フ場合、サウ云フ風ナ
場合ニモ尙保險料ハ下ゲズニ、其儘ニ
シテ置クノデアアルカドウカ、ト云フコ
トヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○戸田政府委員 今ノ點ハ法律ノ三十
三條ニ依リマシテ、商法ノ損害保險ノ
規定ヲ準用シテ居リマス、商法ノ第三
百九十二條ト、ソレカラ商法ノ三百九
十四條ガ準用サレルコトニナッテ居リ
マス、商法ノ三百九十二條ハ「保險價額
カ保險期間中著シク減少シタルトキハ
保險契約者ハ保險者ニ對シテ保險金額
及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ
得」云々ト云フ規定ガアリマス、ソレカ
ラ商法三百九十四條ニハ「當事者カ保
險價額ヲ定メタルトキハ保險者ハ其價
額ノ著シク過當ナルコトヲ證明スルニ
非サレハ其填補額ノ減少ヲ請求スルコ
トヲ得ス」ト云フ規定ヲ設ケテアル、此

ト得ス」ト云フ規定ヲ設ケテアル、此

商法ガ準用サレテ居ルコトニナッテ居
リマス
○中川原委員 サウスルト保險料ヲ下
ゲルコトニナルノデアリマスネ、ソレ
カラモウ一ツ御伺ヒシタイノハ評價人
デス、評價人ト云フノハ此保險組合ニ
於テ定ムルノデゴザイマセウガ、此保
險方法ニ依テ健康檢查ヲ行ヒ、評價人
ヲシテ保險額ヲ定メシメルト云フコト
ニナッテ居ルガ、此健康檢查ヲ行フノハ
評價人デアアルカ、或ハ其健康檢查ヲ行
フノニ別ニ検査人ガアルノデスカ、之
ヲ検査人ト評價人トヲ別々ニ定メテ宜
イカ、又ハ同一ノ人ニシナケレバナラ
ヌト云フ御方針デアアルカ、之ヲ御伺ヒ
シタイ

○戸田政府委員 検査ヲシマスノハ組
合員、詰リ家畜ノ分ル技術員ヲ置カセ
タイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ
デ其検査ヲシマシテ評價人ハ技術員ノ
互選ニ依リマシテ、適當ナ人ヲ何人カ
選バセルト云フ方法デ行カウト思ヒマ
ス、一緒ニ立會ッテ評價スル、検査ヲス
ルト云フ場合モ有リ得ル譯デアリマ
ス、ソコハ適當ニ動カシテ行キタイト
思ッテ居リマス、ソレガ資金ノ關係等モ
アリ、保險ト云フコトハ餘程公正ニ行
ハレナイトイケマセヌノデ、技術員ト
云フヤウナモノヲ置カセル爲ニ、保險
組合ノ設立ヲ三年間ハ若干ノ事務費ノ
補助ヲヤルト云フヤウニ考ヘテ居リマ
ス、此評價人ト云フノヲ定メルノハ、是

是

ハ一般保險組合ノ死活ノ鍵ヲ握ルノハ
評價人デアラウト思フ、評價人ガ若シ
高ク評價スル、或ハ安ク評價スルト云
フノデ、組合人ガ加入シナイト云フヤ
ウニナリマスカラ、此評價人ヲ其組合
ニ委セ切リニ委セテ、當局ノ期待スル
ヤウナ實績ガ舉ルト云フ御考デアルカ
ドウカ、私ハ地方ノ情況カラ考ヘテ見
マスルト、評價人ト云フノハ是ハ容易
ナモノデナカラウト思フ、之ヲ單ニ組
合ニ委セルト、却テ組合ガ潰レハシナ
イカト云フヤウナ心配ガアリマスカ
ラ、是ハ無論政府ノ方カラ、ドウ云フヤ
ウニ評價人ハ評價スルトカ、詳シクヤ
ラナケレバ必ズ失敗スルデアラウト思
ヒマスガ、全ク委セ切リニヤル御考デ
アルカドウカ、ソレヲ御伺ヒシタイノ
デアリマス

○中川原委員 此純損害ノ一定割合ト
云フノハドレ位ノ割合ニナルノデアリ
マスカ

○戸田政府委員 保險法ノ三十一條ニ
「保險金額ハ家畜ノ價額ノ百分ノ八十
ヲ超過スルコトヲ得ス」ト書イテアリ
マスガ、今ノ御質問ハ參考書ヲ御配付
シテアリマスガ、多分ソレニ付テノ御
質問ト思ヒマス、詰リ三十一條ノ御質
問デハナイカト思ヒマス

○菅村委員 只今ノ質問應答ニ付テ一
寸伺ッテ置キマスガ、此保險検査ヲ行フ
評價人ノ問題ニ付テハ最も考慮ヲ要ス
ルコトデアッテ、是ガ公正ニ行ハナケレ
バナラヌト云フコトハ當然ノコトデア
ルガ、若シ之ヲ極メテ嚴正公平ニヤル
ニハ第三者トシテ縣ノ技術員ナリ、何
ナリ、サウ云フ者ヲ加ヘテモ差支ナイ
ノデアルカ、是ハ定款デ決メレバドウ
カナリマセウカ、若シ此健康検査ヲ行ッ
テ評價ヲ定メルニハ、全ク只今御質問
ノヤウナ憂ヲ私共モ持ッテ居ル、是ハ餘
程此組合ヲ發達サセル上ニ於テ重要ナ
基礎ヲナスモノデアアル、デアリマスカ
ラ、サウ云フ場合ニハ例ヘバ五人ノ評
價員ヲ要スルトシタナラバ、二人乃至
三人ハサウ云フ方面ニ堪能ノ技術ヲ持

ツテ居ル馬ナリ牛ナリノ専門家ノ意見
ヲ容レルヤウニ、ソレ等ノ人ヲ評價員
ノ中ニ入レルコトガ出來ルカドウカ、
ソレカラ再保險ノ方ニ關シテ爭議ノ解
決ニ付テ審査員ヲ設置スルト云フノデ
スガ、此審査員ト云フ者ハ、ドウ云フ組
織ニナリマスカ

○戸田政府委員 初ノ御尋ノ技術員等
ヲ評價人ニ加ヘルト云フヤウナコトハ
差支ナイト思ヒマス、定款ナリ何ナリ
ニ各組合員ガ、ソレガ適當ト認メテサ
ウ云フコトヲ定メラレルナラバ、ソレ
ハ差支ナイト思ヒマス、ソレカラ保險
ノ審査會ハ御話ノヤウニ詰リ再保險ノ
場合ノ規定デゴザイマスガ、マダ確定
案デハゴザイマセヌガ、大體ノ考トシ
テハ、是ハ趣旨ガ矢張、私法人ノ權利義
務ニ關シテ、簡易ナ解決ノ方法ヲ取リ
タイト云フコトニアリマス、畢竟ハ組
合法ノ趣旨デゴザイマスガ、今簡易保
險デアルトカ、健康保險デ之ニ類スル
コトヲヤッテ居リマス、ソレデ大體其例
ニ準ジテ家畜保險ニ適スルヤウナ方法
デヤッテ行キタイト考ヘテ居リマス

○内野委員長 他ニ御質問ハゴザイマ
セヌカ——皆様ニ御諮リシマスガ、此
案モ大概重要法案トシテ誰方モ大シタ
御異論ハナイヤウデアリマスカラ、午
前ハ是デ審議ヲ打切りマシテ、午後一
時カラ開會致シマシテ、此法案並連
帶シテ居リマス他ノ法案モ一度ニ採決
シテシマヒタイト思ヒマス、何回モ御

會合ヲ願フコトハ愚ノ話デアリマスカ
ラ、今日一日デ片付ケテシマヒタイト
思ヒマス、午前ハ是デ休憩致シマス
午前十一時四十分休憩

午後一時二十八分開議

○内野委員長 今カラ開會致シマス、
本案ニ付テハ別ニ御異論ガナイヤウニ
認メマスガ、如何デスカ

「賛成々々」ト呼フ者アリ

○漢那委員 先程ノ御答辯ニ依リマシ
テ、當局ノ御意思ノ在ル所ハ分リマシ
タガ、當局トシテハ出來ルダケ早く必
要ナ調査ヲ遂ゲラレテ、サウシテ家畜
保險ノ中ニ豚ヲ加ヘラレルヤウニシテ
戴キタイト思ヒマス、ソコデ之ニ對シ
テ當局カラ出來ルダケ私ノ希望ニ副ヒ
タイト云フ御答辯ヲ得マシテ、サウシ
テ其趣ヲ委員長カラ本會議ノ議場ニ於
テ報告サレルトキニ付加ヘテ戴キタイ
ト思フノデアリマス

○内野委員長 先刻ノ問答デ、スッカリ
分ッテ居ルヤウデアリマスガ、更ニ答辯
サレル必要ガアリマスカ、政府委員ト
シテハ無論御同意デ、早ク豚ニ家畜保
險ヲスルダケノ狀況ニ進ムコトヲ希望
シテ居ル、今ノ所デハ何分統計ガ取レ
ナイカラ、政府モ無論其希望ハ持ッテ居
ルト云フ、先刻政府委員ノ答辯ガアリ
マシタガ、マダソレデ御不満足デスカ

○漢那委員 先刻ノ問答デ、一寸後デ

最初ノ御答辯ト違フヤウナ御答辯デア
ツタヤウニ思ヒマスカラ、改メテ……
○内野委員長 ソレデハ政府委員カラ
改メテ御答辯ヲ願ヒマス

○東政府委員 先程戸田政府委員カラ
御答ヲ致シタ通りデアリマス、保險ノ
目的トシテハ、只今此保險法ニ於テハ
牛馬ト云フコトニナッテ居ルガ、漸次理
想トシテハ家畜制度ガ漸次發達シテ來
ル、又家畜愛護ノ觀念、總テノ方面ニ於
テ家畜思想ガ向上シテ來ルト共ニ、或
ハ豚ノ如キハ理想トシテハ保險ノ目的
ニナリ得ルモノデアルト云フコトヲ、
先程答辯ヲ致シテ居ルノデアリマスカ
ラ、現在デハ統計等ガ不十分デアルシ
移動性ノ多イモノデアルカラシテ、直
ニ目的物ニハシ難イケレドモ、理想ト
シテハ決シテ之ヲ除外スル意思ハナ
イ、速ニト云フコトヲ答辯スレバ、漢
那君ハ満足スルカモ知レマセヌガ、先
ヅ成ルベク希望ニ副フヤウナコトガア
ルト云フコトヲ理想ニ致シタイト云フ
コトヲ答辯致シテ置キマス

○漢那委員 今ノ理想ト云フ御言葉デ
又怪シクナッテ來タノデスガ、理想トシ
テハ無論ソレハ豚バカリデハナク、他
ノ家畜モ色々アリマセウケレドモ、私
ハ其遠イ理想ノコトヲ言ッテ居ルノデ
ハナイノデアリマス、勿論無理ヲ當局
ニ強ユル譯デハアリマセヌガ、マア必
要ナ材料ハ何年掛ッテ御調べガ付カ、
ソレハ判リマセヌケレドモ、例ヘバ十

年掛ルコトヲ一年デヤッテ貰ヒタイト
云フ、ソナナ無理ナ要求デハナイ、成ル
ベク早く調査ヲ完了サレテ、豚ヲ加ヘ
テ戴キタイ、是ハ差當リノ問題デアリ
マス、理想デハアリマセヌ、差當リ豚ヲ
家畜保險ニ入レテ戴キタイ、ソレニ對
シテ當局ガ御同意ガ出來マスレバ結構
ダト思ヒマス

○戸田政府委員 差當リノ問題トシテ
ハ先程モ申シマシタヤウニ、保險ヲ行
フ統計トシテハ、詰リ危險率ノ基礎ト
ナルモノガ必要デアアル、ソレニハ牛馬
ニ比シテ豚ハ非常ニ不十分デアアル、ソ
レカラ又吾々ノ考デハ先程モ申上ゲマ
シタヤウニ、豚ノ中デ種豚ハ比較的早
ク保險ニ入レルコトガ出來ル時代ガ來
ルノデハナイカト考ヘテ居リマスガ、
一般的ニ見マスト、是ハ危險率等ノ點
カラ言ヒマシテ、先程カラ申シマシタ
ヤウニ中々保險技術トシテ相當無理ナ
困難ナ點ガアリマス、ソレデアリマス
カラ豚ノ中デ種豚ト云フモノハ、畜産
行政ノ上カラ見マシテ成ルベク早く保
險ニ取ルコトノ出來ルコトヲ望ンデ居
ル次第デアリマスガ、豚全體トシテ言
ヘバ相當ノ問題ガアラウト思ヒマス、
併シ他ノ種類ニ較ベレバ、現在ノ家畜
ノ中デ牛馬ニ次イデヤルトスレバ豚ダ
ラウト思ヒマス、豚ノ中デ種豚ト云フ
モノヲ考ヘルト云フ順序ニ行クノデハ
ナカラウカト考ヘテ居リマス、今差當
リ成ルベク早くト云フ意味ハ色々解シ

様ニモ依リマスガ、今申上ゲルヤウナ
統計其モノ、基礎材料ニ依リマシテ、
保險ノ基礎トナルノハ統計材料デ、而
モソレハ死亡率ノ統計デアリマス、死
亡率ガ非常ニ高イモノデアレバ保險ガ
成立タナイノデアリマス、サウ云フヤ
ウナ關係モアリマスシ、移動性ガ非常
ニ多イト云フ關係モアリマス、併シ是
ハ色々研究ノ結果或種類ノモノナラバ
成立ツト云フ所マデ行ケバ出來ル譯デ
アリマスガ、ソレデ今御話スルヤウナ
譯デアリマスカラ、此處デ直ニ御引受
ヲスルト云フ譯ニハ參ラヌト云フ意味
デアリマシテ、趣旨ノアリマスル所ハ
先程來申上ゲタヤウナコトデ御諒承ヲ
願フコトガ出來ルダラウト考ヘマス

○漢那委員 今ノ御話デ益ドウモ分ラ
ナクナッテ來マシタガ、牛馬ノ外ニ保險
ノ目的物ニ入レルモノトスレバ、先ヅ
差當リ豚ト云フヤウナ曖昧ナ御答辯デ
ハ甚ダ面白クナイ、當局カラ配ラレタ
此參考書類ヲ見マシテモ、外國ニ於テ
ハ既ニ豚ヲ家畜保險ノ目的ニ入レテ居
ルト云フノデアリマス、入レルナド、
云フヤウナ時代ハモウ過ギテシマッテ、
當然入レナケレバナラヌ、唯ソレニ對
シテ相當ノ期間調査ノ必要ガアルカ
ラ、其調査ノ完了ヲ待タナケレバドウ
ニモナラヌカラト云フコトガ、今日ノ
當局ノ御立場デナケレバナラヌト思
フ、私ハ其立場ハ無論諒解シテ居リマ
スガ、出來ルダケ早く調査ヲサレテサ

ウシテ豚ヲ加ヘテ戴キタイ、之ニ對シ
テ其通り同意スルト云フ御答ヲ極ク簡
明直截ニ得ラルレバ非常ニ結構ダト思
ヒマス、理想論ヲ戰ハシテハ何時迄經
テモ盡キル所ハアリマセヌ
○戸田政府委員 調査ヲ行ッテ成ルベ
ク早く豚ノ入ルヤウニシタイト云フ意
味ニ於テハ、吾々モ同感デアリマス
○漢那委員 其御答ヲ得レバモウ結構
デアリマス
○内野委員長 他ニ御異存ハアリマセ
ヌカ

○水久保委員 本法ハ申上ゲルマデモ
ナク、先ヅ日本ニ於ケル所ノ農村ト致
シテハ、是ハ一刻モ早く此法律ノ施行
セラレンコトヲ非常ニ希望シテ居ル狀
況ニアルノデアリマス、今此施行ニ對
シテハ、本案成立ノ上デアリマセウガ、
「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナ
ッテ居リマス、是ハ何時頃カラ其處ニ
ナル御見込デアリマスカ、此點ヲ明カ
ニシテ置キタイト思ヒマス
○戸田政府委員 是ハ施行ニ關スル法
令ノ出來次第施行シタイト思ヒマス、
デスカラ四月、五月、六月、一寸此進ミ
工合ニ依テ判リマセヌガ、出來ルダケ
早くシタイト思ウテ居リマス
○内野委員長 他ニ御異存ハゴザイマ
セヌカ——御異存ハナイモノト認メマ
ス、本案ハ滿場一致可決致シマシタ
——次ニ家畜再保險特別會計法案ヲ議
題ニ供シマス

午後一時四十分散會

○川越政府委員 家畜再保險特別會計法案ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ申シマス、只今御決議ニナリマシタ家畜保險法ノ規定ニ依リマス、元受保險ハ相互組合ヲシテ之ヲ營マシメルノデアリマスガ、再保險ハ政府ニ於テ之ヲ管掌スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ家畜保險法ニ依リマス所ノ家畜再保險事業ハ、原則トシマシテ再保險料等ノ收入ヲ以テ、再保險金其他事業取扱費等ノ經費ニ充テルト云フ趣意デアリマシテ、唯當分ノ間收支ノ關係上收入ノ不足ノ分ダケヲ一般會計ヨリ補給スルノデアリマスガ、其立前ハ家畜再保險事業ニ依テ生ズル所ノ收入ヲ以テ、是ノ支出ヲ賄フト云フ趣意デアリマスカラシテ、性質上其收入支出ヲ一團トシテ、獨立ニ計算スルト云フコトガ最も適當デアルト云フ風ニ考ヘマスノデ、本事業ニ關スル所ノ歳入歳出ハ之ヲ一般會計ト區分致シマシテ、特別會計ヲ設置スル所ノ必要ガアリマス、是ガ本案ヲ提出致シマシタ理由デアリマス、ドウカ速ニ御協賛アラシコトヲ望ミマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○内野委員長 別ニ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○内野委員長 本案モ滿場一致可決ヲ致シマシタ、長ラクノ委員會デ御苦勞デアリマシタ、是デ散會致シマス

昭和四年二月二十七日印刷

昭和四年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社